

講義科目 : 社会福祉援助技術総論	単位数 : 4
担当 : 武田 誠一	学習形態 : 選択科目 社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

ソーシャルワークと呼ばれる専門的援助実践・専門職の実情や役割および機能、多様な実践の共通課題、その歴史的経過や諸理論を学ぶことを通じて、社会福祉実践におけるソーシャルワークを理解するとともに、専門的援助者としての視点の涵養をはかることを目標とする。

授業計画

1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法の説明、学びの内容)	16	母子とソーシャルワーク(理論)
2	地域を基盤としたソーシャルワーク(理論)	17	母子とソーシャルワーク (方法の実際)
3	地域を基盤としたソーシャルワーク(方法の実際)	18	地域とソーシャルワーク(理論)
4	地域を基盤としたソーシャルワーク(今後の展開)	19	地域とソーシャルワーク (方法の実際)
5	ソーシャルワークの価値	20	医療とソーシャルワーク(理論)
6	ソーシャルワークの倫理・定義	21	医療とソーシャルワーク (方法の実際)
7	ソーシャルワークの歴史	22	生活保護行政とソーシャルワーク(理論)
8	高齢者とソーシャルワーク(理論)	23	生活保護行政とソーシャルワーク(方法の実際)
9	高齢者とソーシャルワーク(方法の実際)	24	生活困窮者とソーシャルワーク(理論)
10	障害者(身体・知的)とソーシャルワーク(理論)	25	生活困窮者とソーシャルワーク(方法の実際)
11	障害者(身体・知的)とソーシャルワーク(方法の実際)	26	学校教育とソーシャルワーク(理論)
12	精神障害者とソーシャルワーク(理論)	27	学校教育とソーシャルワーク(方法の実際)
13	精神障害者とソーシャルワーク(方法の実際)	28	司法とソーシャルワーク(理論)
14	児童とソーシャルワーク(理論)	29	司法とソーシャルワーク(方法の実際)
15	児童とソーシャルワーク(方法の実際)	30	ソーシャルワークの今後の課題とまとめ

教材・テキスト・参考文献等 未定(後日、掲示します)

成績評価方法 1. 課題・提出物: 50% 2. レポート: 30% 3. ミニテスト: 20%

実務経験

在宅介護支援センター、病院での実務経験に基づき、ソーシャルワークの価値と倫理について教授していきます。

その他

ソーシャルワークに関する基礎的な科目です。基本的な知識や態度についてしっかりと身につけてください。

なお、授業ではグループワーク、個人発表など能動的な学習を行います。